



岡田 聰 議員

さらなる健康・生きがいづくりを

町長 意識の変化を促したい

〔岡田〕医療・介護費の伸びは危機的状況であり、さらなる対策が必要である。食生活改善や食育の推進は、

〔町長〕まさに待ったなしの状況であると認識している。血圧が高めの人が多く、減塩や適切な食生活改善の啓発などを行っている。

〔岡田〕生きがいづくり事業の推進は、

〔町長〕小地域保健福祉活動支援事業などで対応している。

〔岡田〕さまざまな相談と情報提供は、



人が集える仕組みづくりを
(行政視察した新潟県見附市)

〔町長〕健康情報の提供や啓発をしている。

〔岡田〕運動の習慣づけは、

〔町長〕公民館での各種運動教室やカーブスジャパンの誘致などで、歩くことや健康を意識する行動変容を促している。

〔岡田〕地元金を落とすために、町営で運動器具をそろえ、囲碁・将棋、卓球、喫茶など多くの人が集える施設は考えられなかったか。

〔町長〕考えていない。

英語教育の充実

教育委員長

次期学習指導要領に備える

〔岡田〕次期学習指導要領の初等中等教育について諮問された内容で、小中高校における英語教育の充実についてどう認識し、どのような対応が必要か。

〔教育委員長〕英語によるコミュニケーション能力は今まで以上に必要となつてくると考えており、本町としても力を入れていく必要がある。少しずつ英字に慣れていくような外国語活動の工夫や、国の教材を活用し平成30年度から段階的に先行実施し、32年度頃からの完全実施に備えたい。

〔岡田〕アクティブラーニングについてはどう

認識しているか。

〔教育委員長〕「どのよう」に学ぶか」「何が出るようになるか」まで見据えた改善が求められる。問題解決的な学習の中で児童・生徒が主体的に学ぶ授業づくりや、話し合いを通じて自分の考えを言葉や文章で表現することを重視した授業づくりなどの研究を進めたい。



熱心に勉強する小学生



大原 広巳 議員

農家の配偶者対策を

町長 働きかけていく

〔大原〕若者の定住化も兼ねて、新規就農者を増やす事業を推進しているが、配偶者を獲得するまでが事業の区切りだと考える。単町で婚活イベントを実施できないか。

〔町長〕関係団体に働きかけていきたい。

〔大原〕堆肥センターの利用を、野菜だけでなく稲作にも拡大できないか。

〔町長〕農協を通じて注文を取っている。今後拡大していきたい。

〔大原〕新品種「きぬむすめ」の生産拡大を図るべきではないか。

〔町長〕奨励品種であるので、動向を見守りたい。

また、国による米の生産調整が平成29年に終わる。飼料米と合わせて、水田フル活用を推進していきたい。

保険加入を推進せよ

町長 啓発に努めたい



公道は危険がいっぱい

〔大原〕公道での農業機械事故が増えている。トラクターなどの小型特殊自動車に傷害保険の加入を推進すべきだと思うが、

〔町長〕県や農協・農機具販売店など関係機関と連携し、周知を図りたい。

〔大原〕軽トラックの任意保険の更新が減っている。高齢者の足として必要なものだが、事故も増えている。対策や助成は、

〔町長〕トラクターなどと同じく必要だと思う。啓発はしたいが、助成は難しい。

町政の継続性は

町長 今後判断する



10年プランに参画したみなさん

〔大原〕森田町政2期8年間の総括は、

〔町長〕人と人、人と自然が心つながる町をめざし、現場や住民の視点に軸足を置いて、町政の課題を解決してきた。

〔大原〕各分野とも課題は山積みである。これだということがない。未来づくり10年プランの責任者として、町政の継続性が大切と思うが、再選の決意は、

〔町長〕課題を解決するなかで、今後判断していく。